

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-13	事務事業名 日本語ボランティア養成事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市内の外国人に日本語を教えることができる人を養成し、外国人がより身近に日本語学習の機会が持てるよう日本語ボランティアを養成する講座を開催する。また、より多くの市民が実際に外国人と接し、向き合うことを通して、多文化共生に関する意識の高揚を図り、人材の育成につなげると同時に、市民の国際交流・多文化共生に対する意識の向上を図り、裾野を広げる。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)国際化の推進(創1-2) (主要施策)日常生活への支援
	実施内容、実施方法 日本語ボランティア養成講座の実施(日本語教授法(外国人に日本語を教えるための知識)、外国人を取り巻くさまざまな問題に関する講演会(法的問題、異文化理解トレーニングなど))の2本立て。講座終了後は、実習として日本語ボランティア活動に参加する。なお、講演会は公開講座とし、養成講座受講者以外の関心ある市民も参加できるようにした。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 講座実施回数	活動指標の考え方(定義) 日本語ボランティア養成講座を実施した回数
	講演会開催回数	養成講座の一環である講演会の開催回数(公開講座形式)
	成果指標名 講座修了者数	成果指標の考え方(定義) 日本語ボランティア養成講座を修了した人数
	講演会参加者数	公開講座(講演会)への延べ参加者数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		563	405	400	400
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		563	405	400	400
	所要人員(B)	人	0.64	0.64	0.64	0.64
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	5,277	5,295	5,330	5,330
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	5,840	5,700	5,730	5,730
	単位当たりコスト (E)=(D)/(講座実施回数)	千円	5,840	5,700	5,730	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			1	1
	実績値	回	1	1	1	
活動指標	目標値	回			5	5
	実績値	回	3	4	5	
成果指標	目標値	人			40	30
	実績値	人	31	33	30	
成果指標	目標値	人			200	200
	実績値	人	148	222	212	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	講座の開催日時について、夜間の開催を望む声や、既存団体の空白地域での開催を求める声がある。
	国・都・他市・民間等における類似事業	他市では、国際交流協会等の民間団体が市からの委託を受けて講座を運営しているところが多い。また、民間の「日本語学校」とは性質が異なる。
	運営上の制約条件・外部要因等	希望者が毎年非常に多く、市民が関心を持っているのは感じるが、講座受講から実習までを「講座」と見なすため、年度の枠に縛られ、一年度に一コースしか開催できない。

コード 4-1-13	事務事業名 日本語ボランティア養成事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	毎年、定員の3～4倍(120～160人)の応募があり、市民の関心が高いことがうかがえる。また、講座修了後、実習活動にも参加してもらったため、事業の実施目的を果たすことができる。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	西東京市の外国人登録者数は増加の一途をたどっており、今後も日本語ボランティアのニーズがあることは間違いない。また、日本人市民にとっても、身近にできる国際交流ということで非常に関心が高いようである。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	「実習」については、平成15年度までは市直営で行っていたが、平成16年度についてはレベルアップ講座だったため、既存の市民ボランティア団体で日本語ボランティア実習の活動を受入れてもらった。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	講座への参加者は、抽選により決定している。また、養成講座中の講演会を公開講座形式とすることで、受講者のみでなく、関心のある市民がより多く参加できるよう工夫している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成14年度に初めて実施して以来、毎回市民の関心が高く、また、実際にニーズもある。講座中の講演会は日本語ボランティア養成講座受講者に限らず、外国人相談会の通訳ボランティアの研修会も兼ねており、さらに、関心のある市民も参加できるよう公開講座とし、効率よく事業を実施している。

17年度における改善点	講座修了者の実習活動について、市直営で行うと、さらに新しい団体ができる可能性があるが、西東京市の外国人登録者数から考えると、これ以上新たな団体の立ち上げが見込める状況を作るのではなく、既存の市民団体に受入れてもらうことにより、既存団体の充実及び事務の効率化を図る。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。